

おふたりさん

備えは計画的に！編

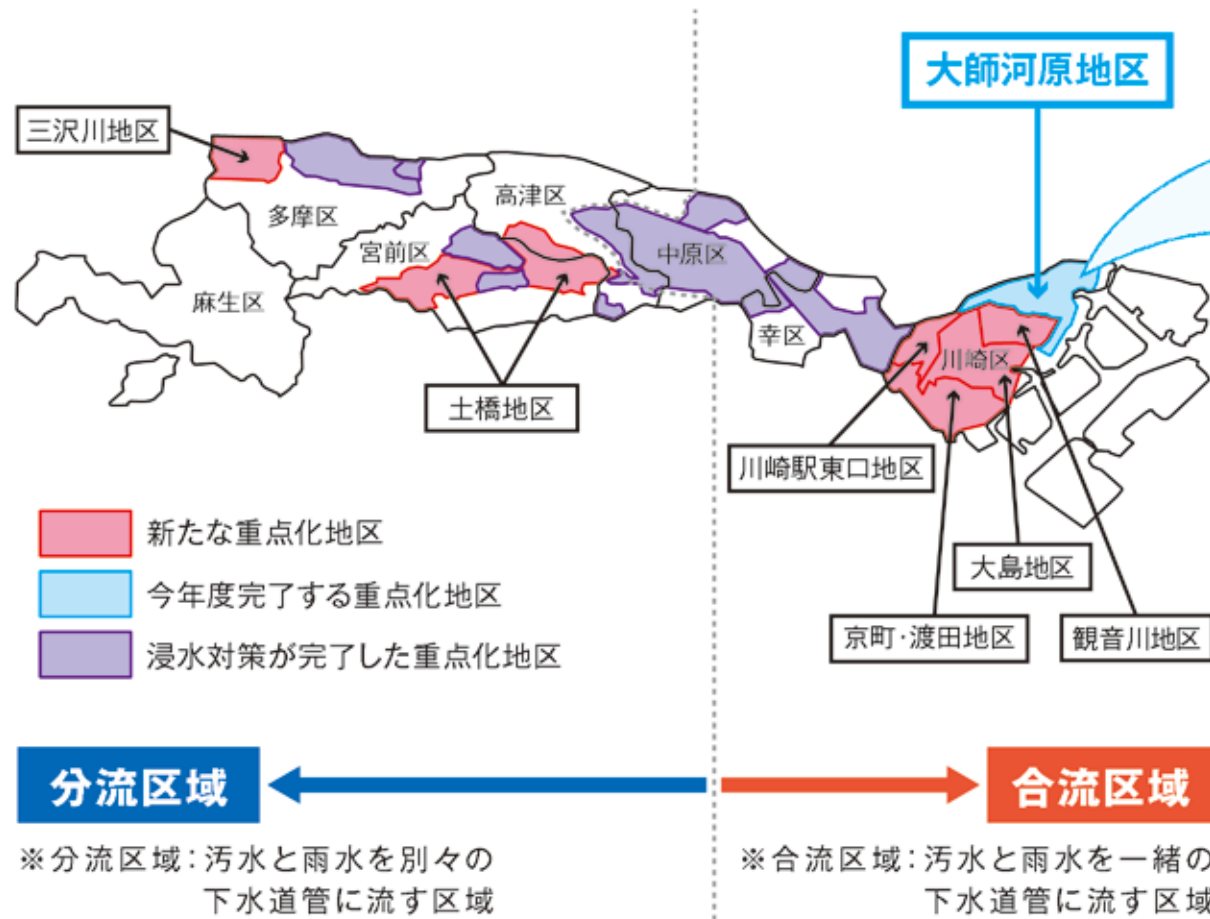


大雨に強いまちづくり

近年、都市化の進展によって雨水が地面に浸透しにくくなることや、局地的な集中豪雨などにより、浸水が起こりやすくなっています。本市の下水道事業では、浸水の危険性が高い地区を「重点化地区」に位置付けて、雨水幹線や貯留管などの整備を進め、大雨に強いまちづくりに向けた取組を推進しています。

川崎市内における浸水対策

平成25年度に設定した「重点化地区」の最後の地区である大師河原地区の浸水対策が今年度完了します。
平成28年度には、新たに6地区を「重点化地区」に設定しました。



大師河原地区の浸水対策について (平成30年度完了予定)

1時間あたり58mmの降雨発生時におけるシミュレーションの結果



シミュレーションでは浸水が発生しています。

対策後はシミュレーションの浸水箇所はなくなります。



浸水被害写真(イメージ)

大師河原貯留管の整備が完了することで、既に整備が完了している施設と一体的に効果が発揮され、浸水被害が軽減されるよ。



ご家庭でもできる浸水の備え

①土のうで浸水対策を！

地下は、浸水被害が発生しやすい場所です。地下に雨水が入らないよう、土のうなどで対策をお願いします。土のうは各区役所の道路公園センターで配布しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。



土のう



土のうで浸水対策

川崎市道路公園センター 土のう

検索

②雨水ますはキレイに！

道路の雨水ますがふさがれていたり、ゴミや落ち葉が詰まると、雨水が下水管に流れなくなり、浸水の原因になります。雨水ますの周辺はいつもきれいにしておくようご協力をお願いします。



車乗り入れブロックで雨水ますをふさいでいる様子



プランターで雨水ますをふさいでいる様子

9月10日は下水道の日

下水道計画課 ☎044-200-2886 044-200-3980

災害用井戸の整備について

上下水道局では、多摩区にあるさく井(井戸)の有効利用に向けた検討をこれまで進めてきました。今回、水道の水源として廃止した井戸や停止中の井戸の中で、水質が良好な井戸を災害時の備えとして「災害用井戸」に整備します。

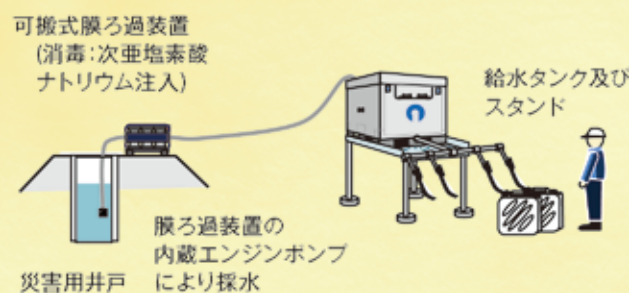


井戸の現状

災害用井戸

災害時に、上下水道局の職員が、仮設のろ過装置、給水タンク及びスタンドにより、地下水の採水、ろ過処理、消毒を行い、地域の方々に飲料水を供給します。

災害用井戸からの応急給水イメージ



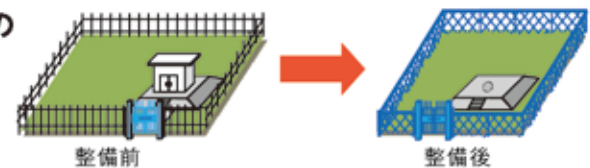
※「災害用井戸」は、応急給水拠点を補完するものとして利用します。 ※「災害用井戸」以外の井戸の用地については、土地活用していくことを検討しています。



今後の予定

詳細設計を行い、建屋の撤去、防水蓋及びフェンスの設置など、必要な整備を進め、2020年度から順次運用する予定です。

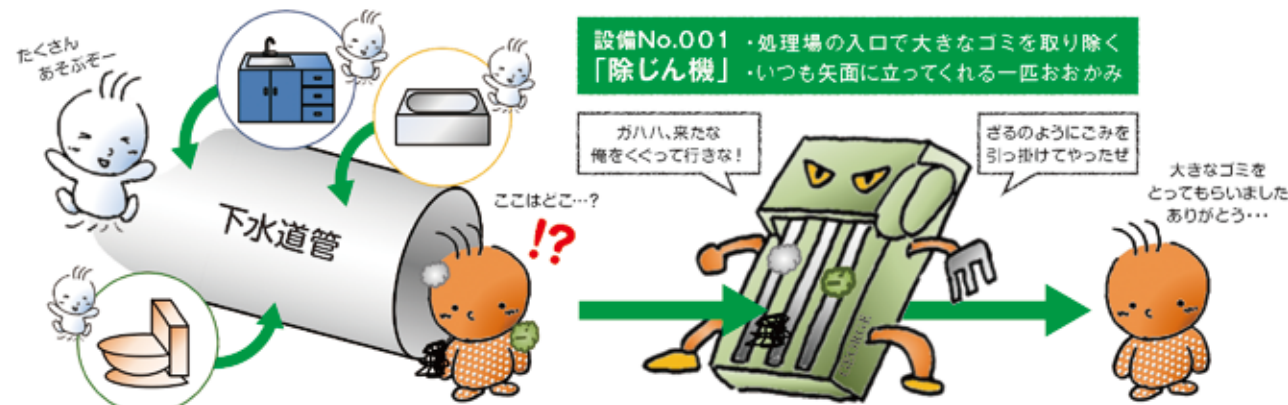
建屋撤去、防水蓋及びフェンスの設置イメージ



水道計画課 ☎044-200-2497 044-200-3943

下水道豆知識 ～設備編①～

このコーナーでは、日々黙々と下水処理場で水をきれいにしている設備たちにスポットをあて、イラストで紹介していきます。



私たちは日々たくさんの水を使い、同時に汚しています。トイレ、お風呂、台所などで、すっかり汚れてしまった水...そのまま海や川に流れてしまわないように、下水処理場できれいにしています。

果たして汚れた水はもとのきれいな姿にもどれるのか？次回沈黙の「洗砂池」編に乞うご期待！

施設保全課 ☎044-200-2822 044-200-3980